

年度	2024
授業コード	15368
授業科目	医療政策・医療経済学
英文科目名	Health Policy and Health Economics
講義副題	
開講責任部署	総合人間自然科学研究科（修士課程）医科学専攻
講義区分	
単位数	2.0
時間割	1学期: 集中講義, 2学期: 集中講義
講義開講時期	通年
履修開始年次	1
メディア授業科目	対象
区分1	
区分2	
履修における注意点	
資格等	メディア授業科目

担当教員

◎は代表教員です。

氏名	所属
◎ 菅沼 成文	医学部
宮野 伊知郎	医学部

授業実施方法	オンライン同期型のみ
--------	------------

副題【SUBHEADING】

【テーマ（日本語）】(IN JAPANESE)	医療政策・医療経済学
【テーマ（英語）】(IN ENGLISH)	Health Policy and Health Economics

授業の目的 【COURSE AIMS】	The Lancet日本特集号から考える医療政策・医療経済 医療政策・医療経済学 医療経済評価、医療技術評価 医療ICT政策と地域連携 医療経済分析 について学習する。事例には、国内での地域保健医療や海外の医療政策に関する近年の課題を取り上げ、その背景と動向についても考察する
授業の概要 【COURSE SUMMARY】	地域保健医療と産業・環境保健における法体系、近年の課題とその特徴、対応のあり方、対応におけるニーズ評価、方策決定のプロセスについて概説する。また、健康ニーズの評価、対策立案及び実践後効果の評価などに関して課題解決型の学習を行う。

授業科目の到達目標【COURSE OBJECTIVES】

	授業科目の到達目標
1	日本の皆保険制度について理解する
2	医療経済評価、医療技術評価について理解する
3	病院管理・病院経営に必要な医療経済分析について理解する
4	医療ICT政策と地域連携について理解する
5	地域包括ケア時代に重要な項目を理解する

<p>履修希望学生に求めるもの</p> <p>【PREREQUISITES / REQUIREMENTS】</p>	<p>近年、根拠に基づく健康政策（Evidence Based health-Policy）の必要性が認識されるようになった。このEBHPは、国、自治体レベルだけでなく、さまざまな社会・集団における健康問題の対応、さらには医療関連分野の諸施設の運営にも活用されている。さらに、政策の運用にあたっては、経済的な効率や医療倫理への配慮も求められている。本科目では、政策決定で必要となるニーズ評価・対策の計画・効果の評価、医療の法体系などについて、基本的知識と技能を、事例を通して学習する。事例には、国内での地域保健医療や海外の医療政策に関する近年の課題を取り上げ、その背景と動向についても考察する。</p>
<p>履修に係わる注意事項</p> <p>【NOTES ON CLASS ENROLLMENT】</p>	<p>担当教員は皆医師免許を有する実務家教員</p>

授業計画【LESSON PLAN】

授業概要	
	<p>2024年6月6日（木）</p> <p>6時限 The Lancet日本特集号から考える医療政策・医療経済（1）菅沼</p> <p>7時限 The Lancet日本特集号から考える医療政策・医療経済（2）菅沼</p> <p>2024年6月13日（木）</p> <p>6時限 The Lancet日本特集号から考える医療政策・医療経済（3）菅沼</p> <p>7時限 The Lancet日本特集号から考える医療政策・医療経済（4）菅沼</p> <p>2024年6月20日（木）</p> <p>6時限 The Lancet日本特集号から考える医療政策・医療経済（5）菅沼</p> <p>7時限 The Lancet日本特集号から考える医療政策・医療経済（6）菅沼</p>
第1回	<p>2024年6月27日（木）</p> <p>6時限、7時限 病院管理・病院経営に必要な医療経済分析の基礎 谷原</p>
	<p>2024年7月4日（木）</p> <p>6時限、7時限 医療ICT政策と地域連携 宮野</p>
	<p>2024年7月11日（木）</p> <p>6時限、7時限 医療政策入門～地域包括ケア時代に大事なこと～ 石井（omniheal）</p>
	<p>2024年7月18日（木）</p> <p>6時限、7時限 医療経済評価、医療技術評価 平尾（香川大学）</p>
	<p>2024年7月25日（木）</p> <p>6時限 まとめ 菅沼</p>

<p>授業時間外の学習</p> <p>【STUDENT PREPARATION & REVIEW AT HOME】</p>	<p>自己学習およびレポート作成</p>
<p>教科書・参考書</p> <p>【COURSE TEXTBOOK / REFERENCE BOOKS】</p>	<p>必要に応じて配付する講義資料</p>

成績評価の基準と方法【GRADING POLICIES/CRITERIA】

	比重・配分
その他	100

<p>成績評価に関する補足</p>	<p>出席、授業態度、レポートなどによる総合的判定</p>
-------------------	-------------------------------

・成績評価は、下に示す本学の成績評価基準に基づいて行われます。

評語	評点	基準
秀	90点～100点	到達目標に示した知識・技能・考え方を理解・把握し、標準的に達成している水準をはるかに上回る成績
優	80点～89点	到達目標に示した知識・技能・考え方を理解・把握し、標準的に達成している水準を上回る成績
良	70点～79点	到達目標に示した知識・技能・考え方を理解・把握し、所定の課題について活用していると判定でき、標準的に達成している水準程度の成績
可	60点～69点	標準的に達成している水準を下回るが到達目標に示した知識・技能・考え方を理解・把握していると判定できる成績
不可	59点以下	到達目標に示した知識・技能・考え方が理解・把握できておらず、単位修得にふさわしくないと判定できる成績

オフィスアワー

氏名	曜日	時間	場所
菅沼成文			総合研究棟 II 2階 環境医学教授室

オフィスアワーに関する補足	メール（ nsuganuma@kochi-u.ac.jp ）にて要予約。
---------------	---

授業形態	講義形式が中心
------	---------